

熊野 SUP マラソン 2026 大会要項

- 1 主 催 熊野マリンスポーツ推進委員会
- 2 共 催 三重県立熊野少年自然の家、熊野市紀和B&G海洋センター
- 3 後 援（予定）熊野市、熊野市教育委員会、熊野市スポーツ協会、熊野漁業協同組合
吉野熊野新聞社(有)、(有)南紀新報社
- 4 協 賛（予定）新鹿観光協会、(株)アオキカヌーワークス、アタシカデイズ、
(株)ON'S COMPANY、熊野市観光協会、サッポロビール(株)、STARBOARDJAPAN(株)
SAWARNA、(株)finetrack、(株)ボードワークスジャパン、(株)マニニューバーライン
- 5 協 力（予定）日本 SUP 振興会、熊野市スポーツ推進委員協議会
- 6 開催日 令和8年10月25日（日）
- 7 会 場 三重県熊野市新鹿町 新鹿観光協会前海岸及び周辺海域
- 8 スケジュール
 - 7時00分 受付
 - 8時00分 開会式・競技説明
 - 9時00分 競技開始【15kmコース】
 - ⇒11:30 競技終了（競技時間150分）
 - ⇒12:00 まで競技結果への抗議受付時間
 - ⇒ 表彰（対象者のみで実施）
 - 9時10分 競技開始【8kmコース】
 - ⇒11:30 競技終了（競技時間140分）
 - ⇒12:00 まで競技結果への抗議受付時間
 - ⇒ 表彰（対象者のみで実施）
 - 9時20分 競技開始【3kmコース・ジュニアクラス】
 - ⇒10:35 競技終了（競技時間75分）
 - ⇒11:05 まで競技結果への抗議受付時間
 - ⇒ 表彰（対象者のみで実施）

※ 24日（土）の13時～16時の間に会場にて前日受付を行います。

9 競技種目（コース）

15kmコース 《新鹿海岸～遊木戸崎～笹野島～楯ヶ崎 折返し》	① オープンクラス
8kmコース 《新鹿海岸～遊木戸崎～折戸 折返し》	② ハードボードクラス
	③ インフレーターブルクラス
3kmコース 《新鹿海岸～新鹿湾内》	④ ハードボードクラス
	⑤ インフレーターブルクラス
	⑥ ジュニアクラス

※当日の天候等の状況により、コースが変更となる場合があります。

※当日の海況等の状況により、距離の誤差が発生する場合がございます。

10 参加条件

- 15kmコースオープンクラス：SUP上級者であり、外洋経験者向け。
- 8kmコースハードボード、インフレーターブル：SUP中級者であり、外洋経験者向け。
- 3kmコースハードボード、インフレーターブル：上記以外のSUP愛好者。
- ジュニアクラス：小学生以下であること。
- 全参加者：大会写真、記録、氏名等の冊子やホームページ等への掲載に同意をいただけること。
大会基準、競技規則に同意・遵守いただけること。

11 使用ボード

- ハードボードクラス：ハードボードに限る
- インフレーターブルクラス：インフレーターブルに限る
- オープン、ジュニアクラス：制限なし

12 表彰（仮）

15km コース	オープンクラス：男性総合1位～3位、女性総合1位～3位
8km コース	各クラス：男性総合1位～3位、女性総合1位～3位
3km コース	各クラス：男性総合1位～3位、女性総合1位～3位
※全クラス	各クラス：4位～8位には副賞をお渡しします。
※スターボード賞	各クラス：ジェネレーションボート使用参加者、1位～3位
※ON'S 賞	各クラス：オムニボード使用参加者、1位～3位

※STARBOARDJAPAN(株)協賛賞

※ON'S カンパニー協賛賞

※表彰者は、放送で名前を呼びます。放送で呼びしても不在の場合は賞状及び副賞を事務局預かりとします。

※4位以降の表彰式はおこなわず、本部にてお渡しします

※完漕者には、完漕証明書を授与します。

※15kmコースのオープンクラスおよび8km、3kmコースでは、とび賞を用意します。

とび賞の対象順位は参加人数が確定後に決定します。（参加者が10名以下のクラスは、とび賞を用意しません）

- 13 抗議** 大会運営、規定に係る抗議は、当該参加者出場種目の競技記録掲示後30分以内に、抗議供託金5,000円を添えて大会本部へ文書にて行うこととする。（抗議受付時間を過ぎると抗議は一切認めない。）この供託金は、抗議が成立し認められた場合には返還する。抗議を撤回するか、認められなかった場合には供託金は大会本部に引き渡される。

- 14 競技規則** 大会主催者が定める大会基準、競技規則による。

- 15 競技方法** 海上に設定されたコース（当日のコンディションにより決定）

- 16 申込期間** 8月 日（ ）～10月 日（ ）

17 参加費

15km コース	オープンクラス	10,000円
8kmコース	ハードボードクラス	7,000円
	インフレーターブルクラス	
3kmコース	ハードボードクラス	5,000円
	インフレーターブルクラス	
	ジュニアクラス	3,000円

※いずれも昼食、大会当日の傷害保険料を含む

※参加費は、エントリー後のキャンセル、当日の不参加、悪天候等による中止や内容の変更の場合も返金、来年度のエントリーへの繰り越しはいたしませんのでご了承ください。

18 大会イベントの開催 ※雨天荒天中止

■ ON' S プレゼンツ 新鹿サンセットポットラックパーティー

日 時 10月24日(土) 16時00分から18時30分まで

※付近に住宅があるため、終了時間は厳守

場 所 新鹿海岸 大会本部付近

当日、会場でのテント泊も可能です。

費用 無料(食事、飲み物等必要な物を各自でご用意ください)

※ON 'S COMPANY 様 主催のイベントの詳細・申し込みに関してはホームページをご覧ください。

■ 親子でシーカヤック体験！

日時 10月24日(土) 13時00分から15時00分まで

※雨天荒天中止

場所 新鹿海岸 大会本部付近

費用 親子で 未定(保険代)

対象 親子

19 その他

- (1) 参加選手および選手関係者の交通費・宿泊費・食事代は自己負担とする。
- (2) 参加選手は浮力補助具及びリーシュコード着用を義務とする。着用していない場合は参加を認めない。
参加選手は大会前に各自健康診断を受診すること。
※コースが外洋を含み海況、天候の変化によっては落水の恐れがあるため、膨張式ではなく、浮力体・ベスト式ライフジャケット着用を強く推奨します。
- (3) ショアブレイクが大きく、予定していた位置からのビーチスタートの難易度が高いと判断した場合、スタート位置及びゴール位置を変更する場合がある。また、状況によってはスタートラインを海上に設定する場合がある。
- (4) 参加選手はスタンディング状態でボードを前進させることが困難と判断した場合には、スタンディング状態以外でボードを前進させることができるものとする。
- (5) 大会期間中の事故等による負傷は応急手当をするが、それ以後の責任を主催者は負わないものとする。
- (6) 競技中及び付帯行事の開催中に自然災害が発生した場合において、主催者は責任を負わないものとする。
- (7) 事前に大会ホームページに公開される競技説明を必ず確認し、競技に参加すること。
- (8) 各種問合せ先

内 容	問い合わせ先	電話番号等
熊野SUPマラソンについて	熊野市商工・観光スポーツ課	0597-89-4111 メール: sports-en@city.kumano.mie.jp
宿泊先の斡旋について	熊野市観光公社 (営業時間 9:00~18:00)	0597-89-2229 メール: info@kumano-k.jp

(9) 大会中止について

- ・大会当日の午前6時の時点で三重県南部紀勢・東紀州に気象に関する警報が発令されている場合は競技を中止または、コースを変更する場合があります。
- ・大会役員は海況悪化・事故等により大会の安全確保ができないと判断した場合は、競技開始以前あるいは競技中に競技中止を決定する。競技者は大会役員の指示に従い行動しなければならない。
- ・中止基準は次のとおりとする。また基準以下であっても、主催者が危険と判断した場合は中止とする。

風速 10m/s 以上、波高 1.5m以上、視程 500m以下、雷、雷鳴

- ・海況悪化等で大会中止またはコース変更した場合は、参加費の返納、来年度への繰り越しはいたしませんので予めご了承の上、お申し込みください。参加賞のみお渡しします。

■大会基準

- 1 大会主催者は、大会運営にあたり、「競技者、大会関係者及び一般地域住民の安全」を最優先に配慮することをここに確認する。
- 2 大会主催者は、大会運営するにあたり下記の権限を保有する。
 - (1) 大会当日台風などの接近により、競技環境の悪化、天候等により十分な安全が確保できないと判断した場合、競技が開始される以前あるいは競技中に競技内容の変更または中止を決定する権限。
 - (2) 競技運営規則に違反した競技者に対して、失格を命令する権限。
 - (3) 競技技術の未熟さ、過度の過労、競技中の事故等の理由で、競技続行に支障があると判断した競技者に対して、競技続行の中止を命令する権限。
 - (4) 競技成績をあげることを目的に使用される薬物、身体に有害な刺激物、興奮剤及びアルコール飲料を大会のために使用した競技者に対して、失格を命令し、それを検査する権限。
 - (5) 艇やパドル等が破損し、競技続行が不能と判断した競技者に対して、競技続行の中止を命令し、失格とする権限。

■競技規則

1 ルールの厳守と責任・安全管理義務

- (1) 競技者は本大会競技規則、水上における交通規則、主催者運営委員の発する案内、指示および注意・警告・命令を厳守しなければならない。
- (2) 競技者は本大会が公海・施設・自然環境を利用して開催されることをよく理解し、主催者および大会関係者による案内・注意・指示などの有無にかかわらず安全を確保できる注意を払いながら競技を遂行しなければならない。
- (3) 競技者は自己の責任において体調を維持し、安全管理を怠らず競技を遂行しなければならない。
- (4) 競技者は良識あるスポーツマンとして、フェアプレイの精神を持って行動することを要求され、危険行為や大会運営に支障が起るような言動・行動は慎まねばならない。
- (5) 先行艇の追い抜き等にあつては十分な艇間の距離を置いて接触等の事故の無いように競技者は注意しなければならない。

2 安全確保と緊急合図

- (1) 競技者は浮力補助具及びリーシュコード着用を義務とする。着用していない場合は参加を認めない。

※コースが外洋を含み海況、天候の変化によっては落水の恐れがあるため、膨張式ではなく、浮力体・ベスト式のライフジャケット着用を強く推奨します。

- (2) 競技者は本大会環境を十分に把握し能力に応じたペースを守り、他の競技者・競技者以外の周辺航行船舶との接触をさける十分な間隔を保ち競技を遂行しなければならない。
- (3) 競技者は競技中に援助を必要とする場合は「競技を中止して、片手を頭の上で振り救援を求める」こ

とで統一する。

- (4) 競技者は他の競技者が落水等の状態にあり安全の確認ができないときは救助に向かわなければならない。

3 競技中止

- (1) 自ら棄権する競技者は速やかに大会役員（競技中にあつては最寄りの監視員）にその旨通知し、指示に従って速やかに競技コースから退却しなければならない。
- (2) 主催者運営委員から競技の中止を命じられた競技者は速やかに指示に従って競技コースから退却しなければならない。
- (3) 競技者が競技中に落水した時は、自力による再乗艇ができない場合はその時点で失格となり、前項の（3）で記載した救援を求めるものとする。
- (4) 自力による再乗艇ができない場合とは、セルフレスキューを3回試みて乗艇出来ない場合、及び全く自力で乗艇することが出来ない場合とする。
- (5) 主催者が競技中における中止を決定した場合は、監視員より水上において通知されるので、競技者は速やかにその指示に従わなければならない。

4 競技中の小休止の許可と競技復帰

- (1) 競技者の安全のため競技時間内における小休止は随時可能とする。小休止の際は、他の競技者の競技遂行を妨げないよう配慮すること。
- (2) 競技復帰に際しては競技コースを離脱した地点から再スタートすること、また競技終了者が再度競技コースに入ることを禁止する。

5 競技コースの確認

- (1) 競技者は個人の責任において事前に競技コースおよび競技環境を把握しなければならない。なお視察・試漕に際しては、個人の責任において行うものとし、大会実行委員会は関知しない。
- (2) 競技者が競技中に指定のコースを離脱した場合は、原則として離脱した地点に戻り競技に復帰する事は認めるが、主催者の判断によりペナルティーを科す場合がある。
- (3) 折り返しブイの位置は、設定した距離に適した位置に設置をしているが、当日の海況状況によって船頭の判断等により必ずしも設定した距離になるとは限らない。

6 制限時間

- (1) 3 km コースはスタートから **75分で終了**とする。
- (2) 8 km コースはスタートから **140分で終了**とする。また、折返し地点まで 70分以内で到達していない場合、監視船にて回収する。
- (3) 15 km コースはスタートから **150分で終了**とする。また、折返し地点まで 75分以内で到達していない場合、監視船にて回収する。

7 競技用ゼッケンの着用

- (1) 主催者から提供されたゼッケンは、参加される方個人の登録番号である。大会関係者が身元確認をする際に使用しますので、必ず見えるように着用すること。